

フェリス女学院 2006 年度事業計画

1 経営・運営に関する事項

- ・ 学院グランドデザイン策定への取組み
- ・ 学院改革の推進（事務局等の機能重視組織改編）
- ・ 大学 入学定員ならびに収容定員の変更
（文部科学省認可 06 年 4 月 1 日より実施）

これにより入学定員 457 名 545 名、収容定員数 1,908 名 2,260 名とする。

- ・ 中学校・高等学校 校納金の改定
 - 1 高等学校入学金 25 万円 30 万円に改正
 - 2 中学入学時納入の施設設備費 23.4 万円 25 万円に改正
 - 3 高等学校の授業料 50 万 4 千円に改正（年額 1.2 万円の値上げ）

2 財務に関する事項

- ・ 理事会が提示した部門別コスト削減目標にそった予算の策定と学院財政の中長期目標の策定と実施推進
- ・ 資産運用への取組み
- ・ 第 2 号基本金組入れ計画の実施
〔大学部門〕 大学キャンパス施設設備拡充整備資金計画
〔中学校・高等学校部門〕 校舎建替第 2 期工事建築資金計画

3 施設設備に関する事項

2006 年度の主な該当事業は以下のとおりである（総経費 300 万円以上の事業案）。

〔大学部門〕

屋外 受変電設備改修工事
緑園校舎 空調機更新工事

緑園キャンパス 点字ブロック工事
事務部統合に伴う改修工事

〔中学校・高等学校部門〕

2 号館、12 号館連絡通路設置工事

同関連 側塀更新・新設工事

4 教育研究に関する事項

フェリス女学院はキリスト教信仰に基づき女性のための教育を行うことを目的としている。For others (フィリピ 2:4) を教育モットーとして掲げ、他者への心遣いのできる教養ある自立した人格の育成を目指している。これらの目標を実現するために各学校で独自のプログラムを推進している。

〔大学部門〕

- 専門教育の充実とあわせ、国際ワークキャンプ活動（インド・ケララ州）をはじめとするキリスト教信仰に基づいた様々な教育活動の展開。
- 女性の地位向上に関する教育、世界平和・地球環境問題教育、国際化、高度情報化社会に対応した教育の充実の視点から、Stop VAW(Stop Violence Against Women)活動の展開、セメスター・アブロード、海外インターンシップの推進。
- e - ラーニングによる情報化時代に対応した教育の取組み。
- キャリアデザイン支援の推進を図るための授業展開の充実。
- 総合的な学生生活関連支援の実現を目指した事務部門の統合。
- 10 年の節目を迎える「フェリスのオープンカレッジ」 生涯学習活動における取組みや大学附属図書館等キャンパス施設の一部開放等を通じた地域社会への貢献。

大学

05 年度（平成 17 年度）に「特色ある大学教育支援プログラム（特色 G P）」1 件、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 G P）」2 件が採択され、2008 年度（1 件は 07 年度）まで毎年補助金が交付される。同採択関連事業として様々な事業を予定。

特色 G P

読書運動プロジェクト「フェリスの 1 冊の本」（08 年度まで継続）

現代 G P

地球温暖化に向けた環境教育拠点の形成（07 年度まで継続）

若い女性の視点からの音楽コンテンツ創造（08 年度まで継続）

その他の新規事業

海外演奏旅行等の実施（音楽学部）

e - ラーニングを活用した講義支援システムの構築（情報センター） 他

学生生活・支援関連事業

学内活性化と課外活動の支援策

ハラスメントのない環境づくり

ボランティアセンター活動、障がい者学生に対する支援体制の確立

大学院

国際交流研究科で「長期履修学生制度」の実施準備を開始。2007年度導入を目指す。

〔中学校・高等学校部門〕

- 136年の伝統を引継ぎ、中高一貫教育を主体とした6年間の教育水準の維持とその成果としての進学実績の維持。
- 無理をしない自然体での教育と束縛の無い自由で快活な学校生活の実現。
- 生徒の保護と生活環境の充実並びにその強化・改善(セキュリティー対策)。

5 その他の事項 他

募金活動の推進